

《プロジェクト名 萩ワラビ園直売所活用資源保全・雇用創出事業》

市町村	南陽市	対象地域	南陽市吉野地区	分野	林業
実施主体名	萩生産森林組合	代表者氏名	川合敏雄	住所又は主たる事務所の所在地・連絡先	南陽市萩174-1
実施主体構成	任意団体（組合員51名）				

プロジェクト 目標（5年後）	産出額（増加額）	3,270千円（1,600千円）					
	独自の目標項目	厳しい林業下、組合員の雇用機会の拡大と自家農林産品の販売拡大、山菜資源の保全確保を図る					
各年次目標	現 状	1年目（H22）	2年目（H23）	3年目（H24）	4年目（H25）	最終年（H26）	
	産出額	1,670千円	1,850千円	2,200千円	2,570千円	2,920千円	3,270千円
	独自の 目標項目	休憩所・直売所建設と資源保全 雇用5名 山菜販売5千円（@500×10kg）	自家生産ワラビも含め販売拡大 雇用10名 山菜販売30千円（@500×60kg）	販売する山菜品目を拡大提供 雇用15名 山菜販売75千円（@500×150kg）	組合員雇用機会を延べ20人に 雇用20名 山菜販売100千円（@500×200kg）	安定販売と安定雇用を充実整備 雇用30名、 山菜販売100千円（@500×200kg）	
プロジェクト 概要	◎実施方針	山菜資源を保全し、販売する農林産品を広げて組合員の雇用機会拡大を図る					
	○産出額の増大	直売品をワラビ単体から茸も含めた山菜全般に拡大する事で増収が期待できる					
	○雇用の創出	新たに産直所を持つことで、入園者との交流の機会と組合員の雇用機会の拡大が図れる（延べ30人日）					
	○創意工夫	ワラビ園を主とした観光農林業とし、産直を機会に農林産品を通年販売に結びつける					
	○実現性	1シーズンに入園者が延べ1千人を超えるワラビ園の定着により、目標達成は可能					
	○地域への波及効果	自家消費中心の農林産品を活用・販売する事で、地域全体に活力が広がる					
	○その他	吉野まちづくり委員会と連携・協力して資源保全に努め、さらに地域特産品づくりを進める					

事業 計画		実施年度（平成22年度）	実施年度（平成 年度）
	事業内容	ログハウス風の産直所・休憩所をワラビ園内に整備	